



「YOSAKOIに出会えた喜びと20年の感謝を込めて、江別まつことええよー」。この言葉から始まる今年の踊り。ファイナルという10チームだけの特別のステージで、幾度となく聞いているこの言葉を改めて心に刻みながら、最高の1曲を創り上げること

「ありがとう20年」

江別まつことええ&北海道情報大学
代表 柏木真紀子

当協議会の会員である江別まつことええ&北海道情報大学が

第21回YOSAKOIソーラン祭りで、みごと準大賞に輝きました。

『おめでとう、YOSAKOIソーラン祭り準大賞！
江別まつことええ&北海道情報大学!!』



ができました。準大賞発表でチーム名が読み上げられた時には、この上のない喜びでした。抱き合い、涙しました。120人のメンバーが励まし合い、支え合いながら厳しい練習をやり遂げたことから生まれた絆の証の賞だと感じました。

今年度はYOSAKOIソーラン祭り出場20年、北海道情報大学と合同チームとなつて10年の節目の年があります。今まで応援



援してくださつた江別の皆様に心からお礼申しあげます。そして、これからも提灯のチームとして、多くの皆様に愛され、踊りで江別を盛り上げる力になりたいと願っています。



日ごとにより暑さが増し、夏もいよいよ本番となりました。皆様におかれましては、ご健勝で日々生きがいのある毎日を送られていることとお慶び申し上げます。

去る5月18日、野幌公民館において総会を開催し、活動方針・活動計画、予算などが承認されました。また、6月22日には第9回の理事会において具体的な実践内容について審議を行うことができました。

今年度の重点目標及び改善点についてお伝えしたいと思います。

〈目標〉

- 1、「やりがい」と「生きがい」のあるまち
- 2、「自助・公助・共助」の調和のとれたまち
- 3、孤立、孤独者をつくらない触れあいのまち
- 4、「教え合い」「学び合い」の中から学びの輪を広めるまち

〈改善点〉

- 1、活動発表会…この名称ですと会員の参加だけの印象が強いため(市民の参加も呼びかけてきたが…)、生涯学習フェスティバルなど、プログラムの内容などを検討
- 2、加盟団体代表者会議…この会議を設定したのは6年前になります。本協議会の活動内容を理解してもらう、各団体(会員)の活動内容を理解し合う、活性化を図りたいというねらいがありました。今後は、発表会を通して各活動内容を、研修会を通して生涯学習を学ぶという方向に替えたいと考えています。

豊かな創造性、勇気ある挑戦を忘れることなく、皆さんと共に歩んでいきたいと考えております。



総会終了報告

本協議会の平成24年度(総会)が去る5月18日(金)野幌公民館において開催されました。初めに谷川会長の挨拶のあと、江別市社会福祉協議会の玉谷一三さんを議長に選出し、各専門部の理事から活動報告・決算報告・会計監査報告がなされすべて承認され、平成24年度活動方針・収支予算がともに可決されました。

今年度の活動方針は「生涯学習リレー講座」「会員活動発表会」また本協議会情報誌「ら・ら・ら」の年4回発行などですが、「会員活動発表会」には従来の舞台の発表に加え、昨年は展示部門の発表が大変充実していたのでそれを更に深めるためにも、加盟団体の参加をよびかける。また、会員活動への支援事業についても早期の充実を図りたいとのことでした。

生涯学習の地道な活動を継続する大切な一歩に会員相互の連帯をもっと深められたらと感じた総会でした。

こんにちは「吟じます、なんだかいけそつな気がする」でおなじみの詩吟です

旺華流旺吟会 宗家・音楽療法士 安藤旺華

詩吟の正鵠は「詩心・詩魂」と言われていますが、とにかく大きな声を出すことです。お腹から声を出すことで聞く人の琴線に触れる声・感動を与える声を目指し時間をかけて練り上げ、自分の体を楽器として作り上げていく。その過程が自身の精神的カタルシス効果をもたらすのです。また、詩吟で題材とする詩には選りすぐられた漢詩・短歌・俳句・新体詩などがあり、これらを声に出して読むことで心の栄養にもなるのです。

「むずかしい」と敬遠していた人が、こんなにすっきりするとは…」になり、5年・10年と続けていると歴史的・音楽的・教育的要素なども身に付き、気のパワーが後押しして舞台でも堂々とした態度が出来るようになってくるなど詩を吟じることには不思議な魅力が隠されています。

詩吟は古臭いと思われるがちですが現在幼児教育の場で漢詩や短歌・日本の有名な詩などの朗誦を取り入れているところがたくさん出てきています。早いテンポで朗誦することは、お腹を動かし腹式呼吸に繋がるのです。「早いテンポは子供の脳が胎生的に求めている」と明治大学文学部教授・齋藤孝先生も言っておられます。集中力を付けるためにもぜひ幼稚園・小・中学生に体験していただきたいのです。

旺華流は詩吟をどうすれば療法的に活用できるかを考えながら音楽療法士が指導しています。各種コンクールや文化祭・大会の舞台などで発表していますが、詩を暗記することが認知的刺激となり楽しみながら知らず知らず心身に良い結果をもたらしているのです。皆さん是非やってみましょう！

<道民カレッジ連携講座> 平成24年度生涯学習リレー講座

「地域と共に行う子育て」

～「地域の子どもは地域で育てる」に視点をおく～

会場 / 江別市大麻公民館研修室2号 (江別市大麻中町26番地の7)



講座 <1>
8月24日(金) 18:30～20:00 (定員100名)
「おやじの会」を通しての社会参加
「おやじの会」の活動内容やPTA本体とのかわりから、地域貢献の仕事、今後の課題について
大麻東小学校PTA会長 石田 武史 氏

講座 <2>
8月31日(金) 18:30～20:00 (定員100名)
「子供は学校で学び、家庭で育ち、地域で伸びる」
<学校で学ぶ> <家庭で育つ> <地域で伸ばす>
江別市教育委員会学校教育支援室 学校教育課 学校支援地域本部コーディネーター 平本 重徳 氏

講座 <3>
9月7日(金) 18:30～20:00 (定員100名)
「子どもたちに「土曜広場」を～経験を力に 出会いを活動源に～」
・地域で子どもを育てること「えべつ土曜広場」 ・自分の思いを活動にする道具
・生涯学習としての「えべつ土曜広場」 ・活動を継続するための工夫
えべつ土曜広場推進委員会事務局長 丸藤 京子 氏

受付期間 7月30日(月) から
裏面の「講座参加申込書」にご記入後、ファクスにてお申し込み下さい。
なお、ご不明な点がありましたら下記電話番号までご連絡ください。

ご連絡先 / 江別市教育委員会生涯学習課 (〒067-0074 江別市高砂町24-6) TEL 011-381-1062

<主催> 江別市生涯学習推進協議会

8月・9月のイベント

- 子ども文化ネットワーク・江別
- ◎こねっとおはなし会
旧町村農場
8月18日(土) 10:30~11:30
- ◎こねっと絵本フェスティバル2012
野幌公民館
9月9日(日) 10:00~15:00
- ◎こねっとおはなし会
旧町村農場
9月15日(土) 10:30~11:30

- 江別消費者協会
江別消費者フェア テーマ「つなげよう安全・安心」
市民会館
8月25日(土) 10:00~15:30

- 江別市スポーツ少年団
- ◎第32回野球大会
はやぶさ運動広場
9月1日(土)
9月~11月にかけて開催
- ◎第32回卓球大会
東野幌体育館
9月8日(土)
- ◎第32回バスケットボール大会
市民体育館
9月8日(土)・9日(日)
- ◎第29回ソフトテニス大会
飛鳥山テニスコート
9月9日(日)

- 江別市高齢者クラブ連合会 第40回演芸大会
市民会館 大ホール
9月4日(火) 10:00~15:00

- 江別演劇鑑賞会 前進座「あなまどい」
市民会館 大ホール
9月19日(水) 開演:18:30

平成24年度文部科学省子どもの体力向上委託事業 「おやこ元気アップ! in 江別」

子どもの体力向上を目的にした運動プログラムを親子で体験!

日時/平成24年9月22日(土)
9:30~12:30

場所/江別市立野幌若葉小学校 体育館
小学生、幼・保育園児と保護者 50組程度

主催:北海道レクリエーション協会
共催:江別レクリエーション協会
(公社)日本3B体操協会北海道支部

- 問い合わせ・お申込み
3B体操江別サークル 佐藤ひとみ
電話 382-8192(携090-1309-8129)

<道民カレッジ連携講座>

- ◆ 江別市生涯学習講座
- ◆ 江別市生涯学習推進協議会加盟団体研修会

定員 100名

参加 無料

2012 8/17

「生涯学習の これまでとこれから」

1965年ポール・ラングランによって提唱された生涯教育論から今日に至るまで、
主要な流れを分かりやすく解説するとともに、
今後の生涯学習の在り方について述べる。

<講師> あるさと再生塾塾長 小山 忠弘 氏

日時	8月17日(金) 午後6時30分~午後8時
場所	江別市大麻公民館研修室2号 (江別市大麻中町26番地の7)
対象	江別市生涯学習推進協議会加盟団体会員 一般市民



<主催> 江別市教育委員会 江別市生涯学習推進協議会

- 札幌学院大学人文学部
「人間論特殊講義」(道民カレッジ連携講座)
総合テーマ「変貌する現代社会」
8月20日(月)湯本 誠 「雇用と職場はどう変わったか」
8月21日(火)大澤 真平 「見え始めた『子どもの貧困』という課題」
8月22日(水)内田 司 「地域社会の衰退と再生」
8月23日(木)湯本 誠 「自殺(自死)という辛く悲しい現実」
8月24日(金)石井 和平 「社会的企業と地方自治」
※講義は3講にわたって行います。(1講90分)

2講時(10:50~12:20)
3講時(13:10~14:40)
4講時(14:50~16:20)

受講料無料。都合のつく回のみ受講可。
場 所/札幌学院大学B館1階 B101教室
連絡先/教務課人間科学科係
011-386-8111(内線3223番)

- 札幌学院大学法学部
「法政総合講座B」(道民カレッジ連携講座(予定))
テーマ「多角的にみる韓国/朝鮮」
9月26日より毎週水曜日(15週開講)・受講料無料
場 所/札幌学院大学B館2階 B202教室
時 間/13:10~14:40
連絡先/教務課法学部係
011-386-8111(内線3226又は3214)

平成24年度

総務委員会の活動について

今年度は、代表者会議に替えて加盟団体の会員の方々にも参加いただき「生涯学習の意義や大切さ」について研修会を開催いたします。また、リレー講座については8月末から3回おこなう予定です。学校と地域が連携して行う「子育て、教育」について研究したいと考えております。開催時間を午後6時30分から午後8時までと変更します。

自然観察会については、開催方法について検討中です。

生涯学習活動の先進地調査については、昨年に引き続き近隣市へ多くの会員で訪問したいと考えています。会員団体の方々と共に生涯学習団体の役割等について理解を深めたいと考えている企画のつもりです。ご協力お願いいたします。

総務委員長 鈴木真由美

広報委員会の

24年度が始まりました

いよいよ、今年度も始まりました。今回の61号の紙面はいかがでした。よかったですか？生涯学習推進協議会の会員でもある「江別まっことええ&北海道情報大学」の皆さんが今年のYOSAKOIソーランで準大賞を受賞しました。ひとつの目標に向かって皆で勝ち得た賞は、継

続し向上する事の美しさを楽しませて示し、まさしく生涯学習が姿と重なるようです。今年の広報委員会も今年度の大筋のスケジュールが決まり、うごき始めました。

この協議会の会員団体の皆様イベント情報を、多くの市民の方へ伝えたい思いは変わりません。HPでのPRも有効です。イベントは結果の情報よりも予定告知のフレッシュな情報が大切です。「ららら」発行の時期もありますので、「うごき」は早めに広報委員会へお知らせ下さい。お役に立ちたいと思います。また、原稿のお願いをすることも多いのですが、快く引き受けてくださる方ばかりで大変うれし限りです。今年度もよろしくお願い致します。

広報委員長 松山和子

平成24年度

事業委員会事業について

事業委員会は2つの事業を行います。

(一)会員活動発表会・交流会

今年度は平成23年度の開催結果を踏まえ、会員以外への観客への周知としてポスターやチラシを作成し、各団体の特徴を生かした発表会と交流会を実施。

日時 11月17日(土)

午後1時～5時

会場 江別市民会館

(二)支援事業

各会員が行う市民にむけた講座や研修会、発表会等に対し、その費用の一部などを支援する支

援事業を実施。

1. 対象となる事業

平成24年4月1日～平成25年3月31日の間に実施(予定)の事業

2. 対象となる事業の内容

会員団体が行う江別市民に向けた生涯学習に係る講演会、発表会、研修会等の事業や生涯学習の推進を図るための事業

3. 提出書類

支援事業計画書と当該事業に係る収支予算計画書(財政的支援を希望する場合のみ)

4. 支援決定

支援の是非及び範囲を本協議会で審議し、8月中旬までに報告する予定。(申請期間を終了)

その他として 支援を受けた団体には、広報誌「ららら」の記載原稿(団体紹介など)の依頼があった場合はご協力をお願いします。

事業委員長 尾澤典子

★ミニ手話★



す
き

副会長が替わりました

三井房子氏(江別認知症の人の家族を支える会)に替わり、松山和子氏(当協議会広報委員長、おはなしなあと)が副会長に就任しました。

◆江別市生涯学習推進協議会役員名簿(平成24年度)

会長	谷川 幸雄	北翔大学・学校法人浅井学園
副会長	澤口 智視	札幌理工学院
	松山 和子	おはなしなあと
理事	奥谷 浩一	札幌学院大学
	中村 律子	江別まっことええ&北海道情報大学
	立石 静夫	NPO法人江別市文化協会
	高木 玲子	子ども文化ネットワーク・江別
	佐藤ひとみ	3B体操江別サークル
	堀田佐智子	江別認知症の人の家族を支える会
	野地 紀代	江別市家庭問題研究会
	鈴木真由美	えべつ手話の会
	飯田 智	江別市自治会連絡協議会
	渡並 康子	江別市女性団体協議会
	西懸 昭子	江別消費者協会
	尾澤 典子	江別保健所管内栄養士会
	伊藤 洋子	江別市食生活改善協議会
	古川 淳子	NPO法人えべつ協働ネットワーク
	梶野 雅裕	野幌商店街振興組合
監事	富川 核	(財)江別市スポーツ振興財団
	浦島 忠勝	江別生涯学習インストラクターの会



《あとかぎ》

表紙のら・ら・らの文字が何ともいいですね。英語の「生涯学習」の頭文字なのですね。

興味のある事、好きな分野を自分なりに続けてゆける事はとても幸せな事なのだと思ったりしています。

そのヒントを提供したりお手伝い出来るといいのですけれど、北海道の短い夏を十分に堪能させて、健康にお過ごし下さい。

(堀田佐智子)